

# 竜王町コンパクトシティ化構想の実現へ!

## 輝竜の郷づくり 新時代へのチャレンジ

### 地域コミュニティ(自治会)維持・活性化に向けた取り組みについて

### 取り組みの方向性



①町が解決すべきこと

行政と自治会の関係を整理(行政から自治会への依頼ごとの整理(棚卸))

各種役員の選出、会議の出席、行事ごとの参加・出役、全戸配布依頼、募金など



②自治会が解決すべきこと

自治会自らが課題解決に向けて話し合い、決定する(各自治会に学びの場を提供する)

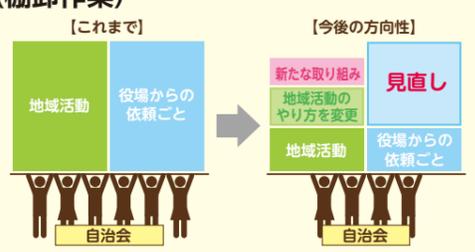
事業・行事の見直し、役員の検討、若者・女性の参画など



### 今年度の取り組み

#### ●行政から自治会への依頼ごとの整理(棚卸作業)

⇒行政から自治会への依頼について見直しを行うことで自治会の負担軽減を図り、持続可能な自治会運営をめざします。



#### ●自治会ヒアリングの実施

⇒小規模自治会を中心とした9自治会に対して棚卸作業等についての意見をうかがいました。

#### 【主な意見】

人口減少、高齢化に伴い、若者に負担がかかっている。これまでと同様の自治会活動は難しくなる

役員のなり手が年々減少しているため、役員の廃止や活動内容について見直しを行ってほしい

配布物については「しるみる竜王」を活用するなど、デジタル化に移行してほしい

#### ●住民・行政で組織する意見交換会の開催

⇒棚卸作業等の参考とするため実施しました。

### 今後の方向性

各自治会とのヒアリングや意見交換会での意見を踏まえ、令和4年度を取り組みの初年度として「役の選出」、「イベント」、「配布依頼」などについて今後、各種団体と協議して決定していきます。



自治会ヒアリングの様子



意見交換会の様子

### 「しるみる竜王」を登録しよう!

より多くの方に情報がいきわたるよう、自治会を通して行っていたお知らせについては段階的に「しるみる竜王」も活用していきます。この機会にぜひ、ご登録ください。



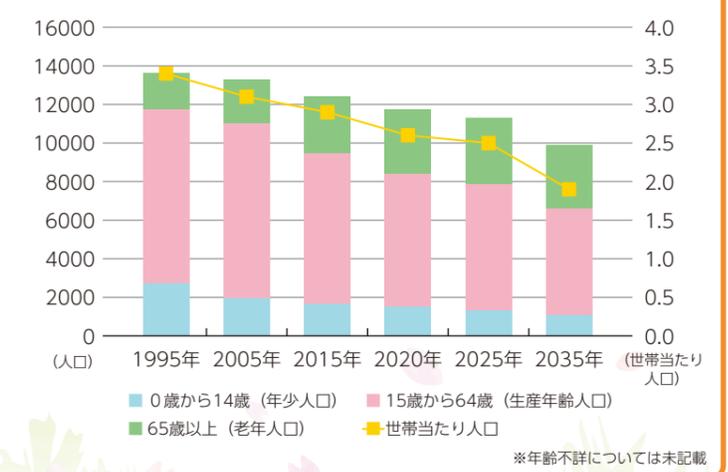
iPhone



android

### なぜ今、取り組みを進めているのか?(竜王町の現状)

竜王町の人口は、1995(平成7)年をピークに減少傾向にあり、2020(令和2)年には1万2000人を下回っています。また、世帯構成や人口構成についても大きく変化しており、今後ますます、自助(世帯)、共助(自治会)の力が低下していくことが予想されます。これは、地域コミュニティを維持することがますます難しくなることを示しており、竜王町の大きな課題となっています。特に町内の自治会は、少子高齢化に伴う人口減少等により、役員などの負担は増大しており、自治会運営は大変厳しい状況にあります。このような現状から令和4年度から自治会の負担軽減を図るため、さまざまな取り組みを行っています。



※年齢不詳については未記載